
北海道浮魚ニュース

平成 14(2002)年度 16 号 (通巻 No.136)

2002 年 9 月 12 日

北海道立水産試験場

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期中調査結果

北辰丸（釧路水産試験場調査船）によって行われた**マサバ・マイワシ**漁期中調査の結果をお知らせします。

調査期間：2002 年 9 月 3～11 日

調査海域および調査点：道東～三陸沖太平洋（北緯 40 度 00 分～42 度 27 分、東経 143 度 10 分～147 度 00 分）における 8 調査点（図 1）

調査方法：9 種類の目合（22,25,29,37,48,55,63,72,82mm）の流し網を用いた漁獲試験

漁獲試験を行った 8 調査点の表面水温は **13.9～21.6**、100m 層水温は **1.5～10.1** でした。

漁獲試験の結果は表 1 のとおりで、流し網調査 1 回当たりの漁獲尾数（**CPUE**）の経年変化は図 2 のとおりです。

サバ類（マサバ、ゴマサバ）は、5 調査点で 4～893 尾、合計 919 尾漁獲されました。**ゴマサバ**が主体のようでした。**CPUE**は **114.9** 尾/回で、前年の **4.4** 尾/回を上回り、近年の中では高い水準でした。魚体は体長 18～22cm 台が主体でした。

マイワシは、3 調査点で 1～8 尾、合計 12 尾漁獲されました。**CPUE**は **1.5** 尾/回で、前年の **0.0** 尾/回を上回りましたが、近年は低い水準で推移しています。魚体は体長 15～17cm 台でした。

カタクチイワシは、7 調査点で 17～4,438 尾、合計 7,209 尾漁獲されました。**CPUE**は **901.1** 尾/回で、前年の **93.6** 尾/回を上回り、近年の中では最も高い水準でした。魚体は体長 12～13cm 台が主体でした。

サンマは、8 調査点で 8～682 尾、合計 1,626 尾漁獲されました。**CPUE**は **203.3** 尾/回で、前年の **65.9** 尾/回を上回り、近年の中では最も高い水準でした。

スルメイカは、5 調査点で 2～218 尾、合計 540 尾漁獲されました。**CPUE**は **67.5** 尾/回で、前年の **116.7** 尾/回を下回り、近年の中では中程の水準でした。

アカイカは、7 調査点で 1～200 尾、合計 533 尾漁獲されました。**CPUE**は **66.1** 尾/回で前年の **95.7** 尾/回を下回り、近年の中では低い水準でした。

（文責：釧路水産試験場 資源管理部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225）

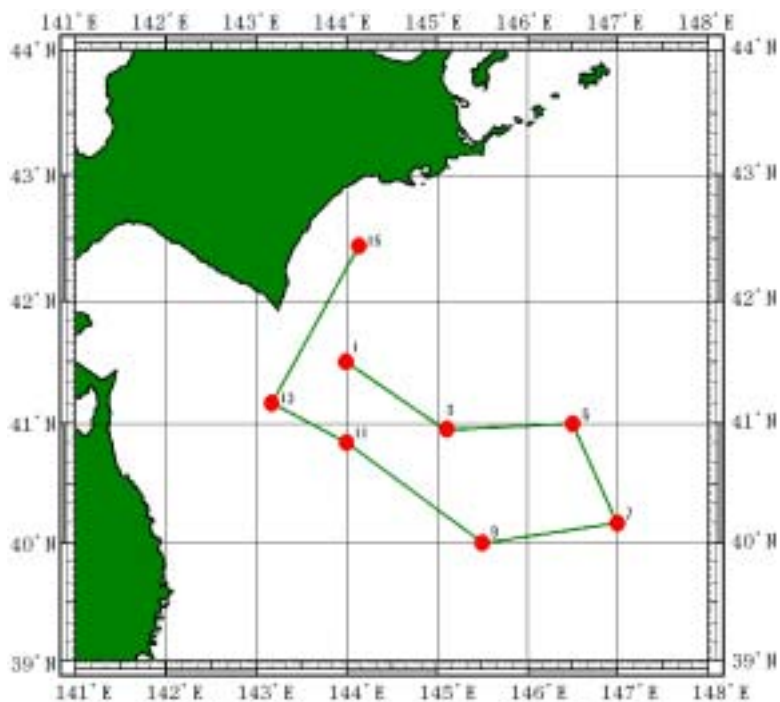


図1 漁獲試験調査点

表1 水温および魚種別採集尾数

地点	St.1	St.3	St.5	St.7	St.9	St.11	St.13	St.15	合計
表面水温	15.9	16.6	19.1	20.0	21.6	21.1	16.2	13.9	
100m水温	1.8	1.5	3.9	1.6	10.1	9.5	1.7	5.6	
サバ類		9	4	893		8	5		919
マイワシ		8	1				3		12
カクチワシ	17	993	223	22		132	4,438	1,384	7,209
サンマ	297	227	149	67	8	17	179	682	1,626
スルメイカ	90	218				2	193	37	540
アカイカ	2	1	102	131	200	92	5		533

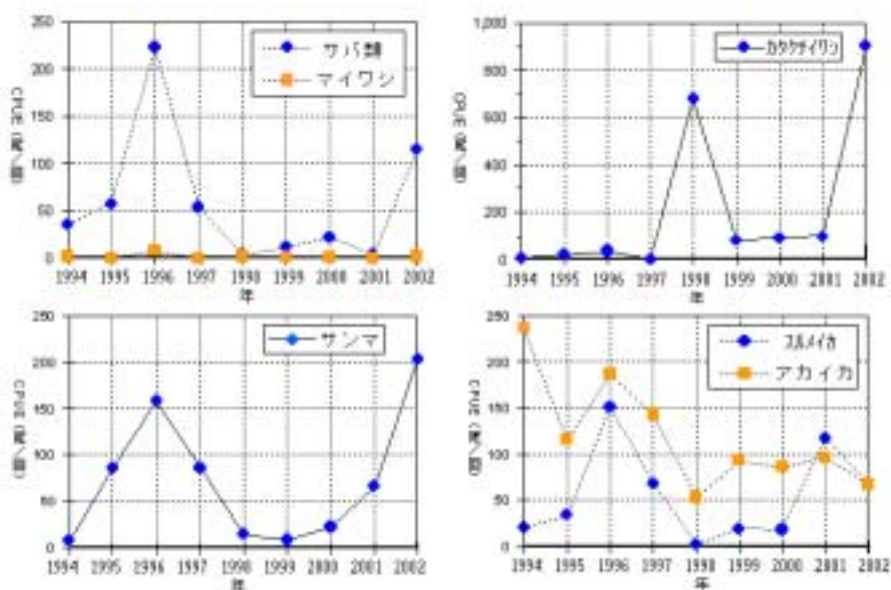


図2 漁期中調査における魚種別 CPUE(流し網調査 1 回あたりの漁獲尾数)の経年変化